

1. 東京体育館

資料4

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の保守点検	×1	◎	<ul style="list-style-type: none"> 各設備員におけるルーティーンの作業時・点検時においても、単純に工程をこなすのではなく、まわりの設備状況をよく観察し、何らかの問題が発見された時点で、迅速に情報を共有し対処するよう意識している。 必要と判断した保守点検には、既定の回数以上に実施し、更なる安全性を高めている。 水質を高レベルで維持管理するために、システムのみならず、目視検査や、実測も随時行っている。 事業団グループは、長年、東京体育館の管理運営に携わっており、主催団体の要望には柔軟かつ高い対応力に応えるなどして信頼関係を築き、大会運営の実績を積み上げてきた。これにより、施設を最大限に有効利用する調整が可能となっている。
(2) プール施設の管理	×1	◎	
(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(4) 施設の警備	×1	○	
(5) 人員配置	×1	○	
(6) 人材育成の取組	×1	○	
(7) 施設の提供について	×1	◎	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護の取組	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> プライバシーマークの更新（5年度目） 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等の発生無し。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○	
(6) 都への報告・連絡	×1	○	
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○	
安全性の確保	配点	評価	評価の内容
施設の安全性は確保されているか			
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	◎	<ul style="list-style-type: none"> 100%近くの稼働率を誇る当施設において、電気・空調・衛生・建築等の多くの点検保守業務を実行することは非常に難しいが、十分な点検保守業務が出来ている。 日次、月次、年次点検等における日誌や報告書、また日々申し送りしている連絡事項についても可能な限りデータ化し、整理した上でファイルしている。これにより過去の類似的な事象が発生しているか、どのような処理を施したか等、迅速に把握できるようにしている。
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○	
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(4) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画に基づき、適切に執行するとともに、赤字収支回避にむけて支出の抑制、収入の堅持・拡大に努めている。 予算明細書、事業計画書を常に確認しながら事業を実施するとともに、会計システムにより適正な予算・執行管理を行っている。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×1	◎	<ul style="list-style-type: none"> 個人利用者数は約68万人。団体稼働率はメインアリーナ、サブアリーナともにおおむね100%となっている。 利用者ニーズに応じた高い稼働率を維持している。
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業の実施状況	×2	○	<ul style="list-style-type: none"> シニア世代、働き盛り、子育て世代、女性、シニア世代、障害者スポーツなど、多様な利用者層を対象として、様々な種目で実施している。 自主事業については、参加者が増加している。 サブアリーナエントランスにデジタルサイネージ（電子看板）を設置し、当館の大会やイベント情報、当日の会議室利用案内、天気予報及び電車運行情報等、来館者にとって役立つ情報を発信している。 駐輪場の無料時間を2時間から4時間に拡大したことで、利用者の利便性の向上が図られた。 メールマガジンを毎月1回計画通りに発信し、事業団のスポーツ事業等の参加者増に努めている。
(2) 自主事業の実施状況	×1	○	
(3) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	◎	
(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
(6) 利用者の満足度	×1	◎	
(7) 苦情等への対応	×1	○	
(8) 利用促進への取組	×1	○	
(9) その他	×1	○	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
43点	A ⁺

標準点※1	評価基準※2	S	46点以上
34点		A ⁺	43点～45点
		A	30点～42点
		B	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A⁺」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「A」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

特命要件の継続状況
東京2020大会の競技会場となっており、引き続き、大会開催に伴う施設管理への影響が施設等の主要な要素に及び、相当の期間において施設の活用が見込まれない状況にある。

2. 駒沢オリンピック公園総合運動場

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の保守点検	×1	○	・施設・設備の監視として、各機器類の監視、IIV設備による管内監視を実施している。 ・各種イベント時には臨時に清掃を行うなど、事業が効率的に行えるよう調整している。 ・施設警備について、警備員が常駐し、防犯モニタなども利用しながら保安警備を行うほか、日中および夜間に巡回業務を行っている。
(2) プール施設の管理			
(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(4) 施設の警備	×1	○	
(5) 人員配置	×1	○	
(6) 人材育成の取組	×1	○	
(7) 施設の提供について	×1	◎	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護の取組	×1	○	・個人情報保護に関する要綱等に則り、適切な個人情報管理に努めている。 ・個人情報の保管に当たっては、書庫等の施錠管理の徹底を行っている。 ・移動可能な個人端末については、ワイヤーで固定し物理的な対策も講じている。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○	
(6) 都への報告・連絡	×1	○	
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○	
安全性の確保	配点	評価	評価の内容
施設の安全性は確保されているか			
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	○	・「安全点検パトロール」を定期的及び臨時的に実施し、危険箇所の発見や各施設の補修箇所等を点検することで、安全な施設維持管理に取り組んでいる。 ・各設備の安全点検の実施・報告のほか、施設等の「点検作業日誌」、「点検作業日報」を作成し、保管している。 ・「災害等対応マニュアル」等を作成し、緊急連絡網も毎年更新している。
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○	
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(4) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	・スポーツ施設の建替え等の影響はあったが、基本的には施設利用が堅調に推移しており、当初の計画通り収入は安定的だった。 ・写真入りの「備品管理台帳」を施設ごとに分け、さらに場所を細目化してファイリングしている。誰が見ても分かりやすいように管理を行っている。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×1	○	・個人利用者数について、トレーニングルームの積極的な運営により、前年度を大きく上回り、21万人を超える利用者数となった。 ・団体利用稼働率は、概ね前年度と同様の水準である。29年度に開館した屋内球技場、第一球技場の稼働率は80%超となった。
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業の実施状況	×2	○	・スポーツ振興事業について、参加対象者はジュニア世代、働き盛り世代・子育て世代等と、幅広い世代に向け多様な種目を実施している。 ・利用者のニーズに基づいて、トレーニング機器を更新し、車いす対応機器の台数増や新規機器への入替を実施 ・都と調整の上、サービスセンター前に授乳室を新設し、平成29年8月から運用。 ・利用者アンケートについて、特に個人利用者について調査会社に委託して詳細な分析を実施。 ・クリスマスイベントなどは各種メディアに採り上げられ、施設のPRに貢献した。 また、オリンピックメモリアルギャラリーは、多数のメディアの取材対応を行い、施設のPRにつなげている。 ・公園管理事務所と緊密に連携し、巡回報告や施設利用予定、工事予定等を共有している。
(2) 自主事業の実施状況	×1	○	
(3) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	○	
(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
(6) 利用者の満足度	×1	◎	
(7) 苦情等への対応	×1	○	
(8) 利用促進への取組	×1	◎	
(9) その他	×1	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
39点	A

標準点※1	評価基準※2	得点
33点		S
	A+	42点・43点
	A	30点～41点
	B	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A+」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「A」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

特命要件の継続状況
① 特命の前提となった施設の位置づけ 変更なし
② 東京都監理団体の特性と果たした役割 団体の特性が十分に発揮されている
③ 都との連携体制 実施
④ 事業の取組状況・進捗度 適切な実施状況
引き続き、改修工事に伴う施設管理への影響が施設等の主要な要素に及び、相当の機関において施設の活用が見込まれない状況にある。

3. 東京武道館

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の保守点検	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> 日本武道館が平成30年夏頃から休館を予定するなど、休館施設の利用者が流れ込んできているが、うまく利用調整を行っている。 安全かつ円滑な利用者の入退場管理、及び危険物・不審物・不審者のチェック等、事故防止に努めている。 総合受付に耳マーク設置のうえ、筆談等で対応を図っている。また老眼鏡も設置している。
(2) プール施設の管理			
(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(4) 施設の警備	×1	○	
(5) 人員配置	×1	○	
(6) 人材育成の取組	×1	○	
(7) 施設の提供について	×1	◎	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護の取組	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の保護にあたっては、書庫等の施錠の徹底を図り、安全性を高めている。個人情報の廃棄する際は、シュレッダーの活用や廃棄業者への委託等、事故の未然防止に努めている。 施設内通路、ホール等の照明器具の省エネ型への切り替え及び間引き、利用状況・形態に応じた照明点灯箇所の調整、冷暖房機器運転の調整等を実施している。 共有ハードウェアは盗難、破壊、損壊、漏水、火災等に対してラック内に収容するとともに、停電、地震に対しては無停電電源装置を設置している。 個人情報漏えいやデータ紛失事故等の発生無し。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○	
(6) 都への報告・連絡	×1	○	
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○	
安全性の確保	配点	評価	評価の内容
施設の安全性は確保されているか			
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> 保守点検の結果に基づき、緊急性のある案件については、可能な限り早く修繕を実施。緊急性が無いと判断される案件については、計画を立て修繕を実施している。 緊急時対応マニュアル・日常点検マニュアル・点検作業マニュアル等、各種マニュアルを整備している。
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○	
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(4) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> 体育施設管理運営事業、スポーツ振興事業、施設活用目玉事業、付帯事業、利用者サービス事業に分けた会計仕訳を行っている。 予算明細書及び事業計画書を常に確認しながら事業を実施するとともに、適正な予算執行管理（予算差引簿等の適正な管理・チェック）を行っている。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×1	◎	<ul style="list-style-type: none"> ツイッターでの利用状況の配信にアイデアを加えフォロワー数1500名、利用促進のためのポイントカード登録者も1700名を超えている。 今年度の団体利用稼働率は86.8%であり、過去最高であった昨年度（87.3%）に近い、高い稼働率を示している。
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業の実施状況	×2	○	<ul style="list-style-type: none"> ジムは屋内でやるという認識を持ちながら、屋外での青空レッスンとして工夫することでPRし、利用者増につなげている。 館所属の武道師範及び各武道の高段者など、優れた指導者を講師に招聘し、各種武道等の稽古、講習会を展開している。 オリンピックや世界選手権の優勝経験者等とふれあう機会を提供する「有名選手・指導者ふれあい事業」等を行い、青少年の武道への関心を高め、武道の普及振興を促進した。 館内に意見箱を設置するとともに、毎年、利用者懇談会の開催、利用者満足度調査を実施し、利用者からの要望・意見等の把握に努め、改善を行っている。 事業団ホームページ、ツイッター、スマイルスポーツ広報誌、年間事業案内チラシ、スポーツ施設利用ガイド等を活用し、事業への参加や施設利用の促進に努めている。
(2) 自主事業の実施状況	×1	○	
(3) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	○	
(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
(6) 利用者の満足度	×1	◎	
(7) 苦情等への対応	×1	○	
(8) 利用促進への取組	×1	○	
(9) その他			

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
37点	A

標準点※1	評価基準※2	S	43点以上
32点		A+	40点～42点
	A	29点～39点	
	B	28点以下	

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A+」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「A」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

特命要件の継続状況
東京2020大会の練習会場の候補施設となっており、引き続き、大会開催に伴う施設管理への影響が施設等の主要な要素に及び、相当の期間において施設の活用が見込まれない状況にある。

4. 東京辰巳国際水泳場

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の保守点検	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> ・設備職員を1名増員(9人体制)し、手厚い体制で業務を行っている。老朽化に伴う各種修繕を12月末まで9,023千円(税込)で実施している。 ・「子ども水泳スクール」参加者の子どもが、シャトルバス乗り降り時の安全確保のため、警備員による誘導を行い事故防止に努めている。 ・メインプールは年に2回、サブプール、ダイビングプールは年に1回の換水清掃時に、排水溝等の安全点検を行っている。また、可動床装置の保守点検を行い安全を期している。
(2) プール施設の管理	×1	○	
(3) 施設の清掃(清潔さ)	×1	○	
(4) 施設の警備	×1	○	
(5) 人員配置	×1	○	
(6) 人材育成の取組	×1	○	
(7) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護の取組	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> ・透明性の高い事業活動を遂行するため「個人情報保護方針」を定めている。その方針に基づき、個人情報保護の取扱いに最大限の注意を払うとともに個人情報保護研修にも力を入れている。 ・水泳場として「緊急連絡網」を作成し、職員に周知、徹底している。重大な事故が発生した場合は、緊急連絡網に従い、管理責任者が所管課長に速やかに連絡できる体制を確保している。 ・指定期間を通じて、個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等発生無し。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○	
(6) 都への報告・連絡	×1	○	
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○	
安全性の確保	配点	評価	評価の内容
施設の安全性は確保されているか			
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練は消防計画に基づく自衛消防訓練を年2回(5月、11月)実施した。また、毎年、深川消防署主催の自衛消防技術審査会に参加し、防火管理業務の技術向上を図っている。なお、消防用設備保守契約を結び、年2回点検を行い不具合のないように努めている。 ・東京都の一時滞在施設として備蓄品は2階以上の場所に保管している。また、レストラン経営会社と協定を結び、帰宅困難者に対する清涼飲料水の確保を独自に行っている。
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○	
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(4) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況(安定的な運営)	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> ・事業団が定める経理規程に基づき、適切な経理処理が行われている。 ・物品の照合については、物品一覧表で年1回チェックしている。物品の廃棄等手続きについては、速やかに行っている。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> ・29年の団体利用者は約480,000人を超える見込みである。 ・メインプール、サブプールの利用率は9割を超える見込みである。
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業の実施状況	×2	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア世代、働き盛り・子育て世代、障害者スポーツなど、多様な利用者層を対象として実施している。 ・「東京辰巳国際水泳場杯」は開館以来25回連続開催となり、誰もが参加できる大会として定着している。 ・セントラルスポーツの指導及び練習カリキュラムを基に、楽しく上達する指導を実施。また、在籍者及び保護者とのコミュニケーションを重視する対応に心掛けた。在席者は1,030名(前年度比58名増)となっている(29年12月末付)。 ・意見箱を事務室カウンター等2か所に設置している。意見についての回答一覧表及び利用者懇談会の議事録を過去年度分と合わせて利用者の閲覧に供している。 ・積極的なPRを行うため、東京都水泳協会と連携し主催大会プログラムへ事業案内を掲載した他、主催事業参加者へ事業案内を配布した。
(2) 自主事業の実施状況	×1	◎	
(3) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	○	
(5) 利用者ニーズの把握	×1	◎	
(6) 利用者の満足度	×1	◎	
(7) 苦情等への対応	×1	○	
(8) 利用促進への取組	×1	○	
(9) その他	×1	○	

※評価： ◎水準を上回る(2点) ○水準どおり(1点) △水準を下回る(0点)

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
39点	A

標準点※1	評価基準 ※2	S	46点以上
34点		A+	43点～45点
		A	30点～42点
		B	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A+」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「A」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

特命要件の継続状況
東京2020大会の競技会場となっており、引き続き、大会開催に伴う施設管理への影響が施設等の主要な要素に及び、相当の期間において施設の活用が見込まれない状況にある。

5. 有明テニスの森公園テニス施設

管理状況	適切な管理の履行			評価の内容 ・定期保守整備・日常清掃・定期清掃・害虫駆除等の維持保全業務において、東京都の仕様を上回る実施回数にて年度事業計画を策定しを実施している。 ・定期巡回の他、施設の施設等確認など、施設の保安業務全般を毎日実施している。 ・新規採用のアルバイト職員について、接客マニュアル等を活用してOJTと合わせて指導・訓練している。
	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			
	(1) 施設・設備の保守点検	×1	◎	
	(2) プール施設の管理			
	(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
	(4) 施設の警備	×1	○	
	(5) 人員配置	×1	○	
	(6) 人材育成の取組	×1	○	
	(7) 施設の提供について	×1	○	
	法令等の遵守			評価の内容 ・標的型メールに対応した「情報セキュリティ緊急時対応研修」を実施したほか、新たに全社員にeラーニングによる情報セキュリティ研修を実施し、社員の意識向上を図っている。 ・園内時計の太陽光充電式3灯の再利用電源のほか、室内照明器具のLED照明への順次更新（通常蛍光灯電力量40%削減）を実施。 ・「情報セキュリティ基本方針」に基づき、情報セキュリティの対応状況について、内部監査を実施することで安全性を維持している。 ・個人情報漏洩、個人データ紛失事故の発生無し。
	個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
	(1) 個人情報保護の取組	×1	○	
	(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○		
(4) 各種法令等の遵守	×1	○		
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○		
(6) 都への報告・連絡	×1	○		
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○		
安全性の確保			評価の内容 ・安否確認システムを導入し、社員の安否状況の把握のスピードアップ及び交通インフラ等の情報収集が各自携帯でできるようになった。 ・『大規模地震発生時初動対応マニュアル』を作成し、非常時の対応をマニュアル化している他、職員に災害対応カードを配布している。	
施設の安全性は確保されているか				
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	○		
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○		
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○		
(4) 事故への対応	×1	○		
適切な財務運営・財産管理			評価の内容 ・大規模改修に伴う休館の中、体育施設利用料収入は年間事業計画を上回った。 ・財務会計システムにおいて部門管理を行い、事業区分の明確化を図っている。また主課課及び経理課において相互確認や月次確認を行い、内部・外部の監査を受けるなど適切な経理処理を行っている。	
適切な財務運営・財産管理が行われているか				
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	◎		
(2) 経理処理	×1	○		
(3) 物品の管理	×1	○		
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○		
事業効果	利用状況			評価の内容 ・個人利用者数は、大規模改修に伴う休館があり、45,299人となっている（前年度86,964人比で52%）。 ・有明コロシアムの団体利用稼働率は、57.9%となっている（前年度60.1%）。
	利用促進効果			
	(1) 利用状況	×1	○	
	事業の取組			評価の内容 ・「有明の森スポーツフェスタ」は、2万人を超える参加者があり、イベントとして定着してきている。 ・自主事業の「有明国際テニス大会」は、スポンサーを確保するなど、事業育成の努力が評価できる。 ・近隣駅へのポスターやデジタルサイネージ、情報誌など幅広い方法でPR活動を行っている。4か国語でのPRを行うなど、外国人誘致も積極的に行っている。 ・大規模改修に伴い仮設運営に移行した際、サービス低下に伴い利用料金を割引するなど、利用率増に向けた努力を行っている。 ・クラブハウス及び芝生広場にご意見箱を設置し、毎日回収を行い月締めで集計。社内で情報共有を図り、改善の優先順位を付けて対応している。 ・施設ホームページについて、指定管理者のホームページ全体としてアクセシビリティに配慮されている。
	事業計画通りのサービスが提供されているか			
	(1) スポーツ振興事業の実施状況	×2	○	
	(2) 自主事業の実施状況	×1	○	
	(3) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
	(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	○	
	(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
(6) 利用者の満足度	×1	◎		
(7) 苦情等への対応	×1	○		
(8) 利用促進への取組	×1	◎		
(9) その他	×1	◎		

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
40点	A

標準点※1	評価基準※2	S	44点以上
33点		A+	42点・43点
		A	30点～41点
		B	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
 「A+」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
 「A」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
 「B」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

特命要件の継続状況
東京2020大会の競技会場となっており、引き続き、大会開催に伴う施設管理への影響が施設等の主要な要素に及び、相当の期間において施設の活用が見込まれない状況にある。

6. 若洲海浜公園ヨット訓練所

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の保守点検	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> ・法令や計画等に基づき設備点検を実施し、各機器等について良好な状態に保った。 ・修理・修繕については、巡回時点検を通じて、危険箇所や破損箇所の把握に努め、必要な補修工事を行い、安全を確保している。 ・日常清掃については、利用者の多い教室開催日の土曜、日曜、祝日を対象に実施するとともに、平日については、社員が巡回時にゴミ拾いなどの簡易清掃を行い、液体石鹸やトイレトーパー等の補充を行った。
(2) プール施設の管理			
(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(4) 施設の警備	×1	○	
(5) 人員配置	×1	○	
(6) 人材育成の取組	×1	○	
(7) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護の取組	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護や情報管理については、eラーニングによる情報セキュリティの研修、社内自主検査、社員向けの資料「情報セキュリティに関する社員の遵守事項」の配布等、事故防止に向けた取り組みを積極的かつ数多く行っている。 ・個人情報の保管場所の施錠については、情報資産（お客様カードなどに記載された個人情報等）やその他契約書類等を事務所内の鍵のかかる書庫にて保管している。 ・個人情報漏えい、個人データ紛失事故等の発生無し。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○	
(6) 都への報告・連絡	×1	○	
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○	
安全性の確保	配点	評価	評価の内容
施設の安全性は確保されているか			
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> ・安否確認システムの導入により、メールやFAX以外の手段で社員の安否及び被災状況の集計が可能となり、状況把握のスピードアップ及び交通インフラ等の情報収集が各自の携帯でできるようになっている。 ・現場で開催する訓練では、3部構成による実践的な訓練を行うなど、職員 個々の防災への意識と危機管理能力の向上を図っている。
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○	
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(4) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨット教室の減収分も一部ながら附带収入等の伸びでカバーし、財務の健全性を保持した。 ・経理・現金に関する帳簿及び関係書類については、東京港埠頭株式会社会計規程等に基づき適切に保存し管理している。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×1	○	・29年度ヨット教室利用者数は1,199人（28年度比72.0%、467人減）
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業の実施状況	×2	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき、「若洲ヨット祭り」「1 DAY無料体験」「マンスリーレガッタ」「障がい者体験乗船会」「東京港レガッタ」等を開催した。 ・障がい者体験乗船会の運営にあたっては、日本セーリング連盟、日本障害者セーリング協会、日本視覚障害者セーリング協会の3団体との連携を通じて運営体制を強化した。その結果、27年度より多くの参加者を受け入れることができた。 ・従来、開散期に近い11月頃に体験会を設定していたが、秋の肌寒い時期ということもあり、運営するスタッフや参加者からも、より温暖な時期への開催を望む声があったことから、今回は繁忙期にかかる時期ではあったが、9月開催で調整を行い、結果として実現した。 ・大規模大会等の誘致・開催を通じて施設やヨット教室のPRを行うとともに、付帯する施設（陸置施設や会議室、臨時駐車場等）の提供や利用促進を図った。
(2) 自主事業の実施状況	×1	◎	
(3) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	◎	
(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
(6) 利用者の満足度	×1	◎	
(7) 苦情等への対応	×1	○	
(8) 利用促進への取組	×1	◎	
(9) その他			

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
38点	A

標準点※1	評価基準※2	S	43点以上
32点		A+	40点～42点
	A	29点～39点	
	B	28点以下	

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A+」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「A」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

7. 武蔵野の森総合スポーツプラザ

管理状況	適切な管理の履行		評価の内容
	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	配点	
	(1) 施設・設備の保守点検	×1	<ul style="list-style-type: none"> 4月1日より建物管理を行っており、習熟度に関しては他社よりも高水準な状態で11月1日を迎えた。監視で気になる点がある場合は即座に対応し、状況の確認をし予防保全を実施している。 定期点検はほぼ計画通りに実施している。若干の作業月の変更はあるが年度内に予定した点検は年度内に終了した。 プールの水質検査を月1回実施している。ポイントに関しては2箇所まで採水しており多摩府中保健所に同意を得た。
	(2) プール施設の管理	×1	
	(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	
	(4) 施設の警備	×1	
	(5) 人員配置	×1	
	(6) 人材育成の取組	×1	
	(7) 施設の提供について	×1	
	法令等の遵守		評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点		
(1) 個人情報保護の取組	×1	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護方針を作成し、ホームページ上で公開している。 電気については、電気需要の平準化を実施するため、電気使用量の多い8～18時までコジェネを運転し、電気需要の平準化に努めている。 業務に使用するPCは、有人の受付または施錠された扉以外から立ち入りできない場所に設置しているほか、可搬記憶媒体等への個人情報の記録は行わない。 緊急時における指定管理者内での連絡網を整備済みである。また個人情報の漏えいや個人データの紛失事故の発生はない。 	
(2) 情報公開の取組	×1		
(3) 環境配慮への取組	×1		
(4) 各種法令等の遵守	×1		
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1		
(6) 都への報告・連絡	×1		
(7) 情報漏えい事故への対応	×1		
安全性の確保		評価の内容	
施設の安全性は確保されているか	配点		
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	<ul style="list-style-type: none"> オープン前に消防訓練を実施し、11月26日以降の態勢に万全を期することができた。 また、オープン前後に全館鳴動等の試験を実施しており、発報するとどういった状態になるかを職員を含めて体感している。 日常の巡回等で避難経路で障害物になり得る物の確認などを行い、緊急時には適正に避難誘導ができるように努めている。 	
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1		
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1		
(4) 事故への対応	×1		
適切な財務運営・財産管理		評価の内容	
適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点		
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画に沿って計画的に執行しており適切な財務状況が保持できている。 企業会計基準及び社内規定に諮り経理は明確に区分している。 備品管理は物品管理業務実施要領等に沿って適切に行う。 帳簿、関係書類は社内規定に諮り、適切に整備・保存している。 	
(2) 経理処理	×1		
(3) 物品の管理	×1		
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1		

事業効果	利用状況		評価の内容
	利用促進効果	配点	
	(1) 利用状況	×1	<ul style="list-style-type: none"> 個人利用者、団体利用者共に、開業後徐々に利用者数が伸びている。
	事業の取組		評価の内容
	事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	
	(1) スポーツ振興事業の実施状況	×2	<ul style="list-style-type: none"> 初回に実施した結果と反省を生かし、2回目に実施する際にコンテンツを増やし、満足度の向上と集客力の向上を図った。 ウエイティング事業を有効スペースを活用して実施している点を評価。 苦情は原則担当部署内で情報共有・対応を行い、必要に応じて他部署との連携を図る。また、施設全体にかかるものはコンソーシアム内の会議で共有する。 簡易版のパンフレットを作成し飛田給駅をはじめとする京王線周辺駅や地元3市のスポーツ施設等に配布した。 ホームページを立ち上げ、順次追加・修正を実施する。併せて開業前からSNS（Facebook）にて情報提供を実施した。
	(2) 自主事業の実施状況	×1	
	(3) サービス向上に向けた取組	×2	
	(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	
(5) 利用者ニーズの把握	×1		
(6) 利用者の満足度	×1		
(7) 苦情等への対応	×1		
(8) 利用促進への取組	×1		
(9) その他			

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
36点	A

標準点※1	評価基準※2	S	44点以上
33点		A+	42点・43点
		A	30点～41点
		B	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A+」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「A」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

8. 東京都障害者総合スポーツセンター

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の保守点検	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤の機械管理スタッフが中央管理システムにより常に監視しており、設備に異常があるとアラームが発報し、確認できる。 ・故障や不具合が発生した場合は利用者の安全を第一に考え、速やかに修理・修繕等を実施し、支障の無いよう対応している。 ・警備業務を遂行するに当たっては、警備業法及び関係法令等を遵守し、火災遭難及び事故防止を図り、施設内の秩序維持に万全を期している。 ・全ての職員が質の高いサービスを提供することを目的として、各種研修を実施している。救急救助にも
(2) プール施設の管理			
(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(4) 施設の警備	×1	○	
(5) 人員配置	×1	○	
(6) 人材育成の取組	×1	◎	
(7) 施設の提供について			
法令等の遵守			
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護の取組	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> ・仕組みや体制の整備などの取組について、「個人情報の保護に関する規程」、「個人情報の保護に関する規程施行要綱」を整備している。 ・東日本大震災を機に、エレベーターを1基停止や館内の電球をLED電球に取り換えるなど、より一層の館内節電に努めている。館内のシャワーヘッドをすべて節水型に変更し、節水に努めている。 ・事故等が発生した場合の報告体制については、「東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部所管施設緊急連絡網」により報告。 ・個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等の発生無し。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○	
(6) 都への報告・連絡	×1	○	
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○	
安全性の確保			
施設の安全性は確保されているか			
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災を教訓とし、災害活動相互応援協定を結んでいる近隣施設と共同で大地震を想定した訓練を実施している。 ・3年更新となっている防火優良認定を継続して取得している。 ・施設利用者に重大な影響が生じる事故は発生していない。
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○	
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	◎	
(4) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理			
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料について、効率的な運営により年度計画通り執行している。 ・「物品取扱要領」に基づき物品取扱責任者を設置し、物品を常に良好な状態で維持・保全するとともに、施設の運営を円滑に行うため、「施設備品一覧表」にて管理している。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×1	○	・29年度の利用者は81,675人で28年度の165,153人と比較すると、83,478人の減少となっている。改修工事により閉鎖している施設があるため。
事業の取組			
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業の実施状況	×2	○	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設において、職員が利用者から直接意見を聞き取るとともに、運営懇談会、お客様の声等により、様々な意見を取り入れるように努めている。改修工事にあたり、他施設への代替利用交渉などを積極的にに行い、工事期間中の利用者サービス維持に努めている。 ・意見箱やアンケートでいただいた意見については、その都度、改善している。アンケート結果については分析の上、次年度の事業計画に反映している。 ・利用者から寄せられた苦情に対し、公平かつ中立的な立場から解決するため、苦情調整委員会を設置し、定期的に委員会を開催している。また委員はそれぞれ、法律・福祉・障害者スポーツの専門家や有識者に依頼している。 ・障害者スポーツを「する」「観る」「支える」情報の収集・発信を行った。 ・ホームページをリニューアルした。スマホ対応に改修した。お問い合わせフォームも新設した。
(2) 自主事業の実施状況			
(3) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況			
(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
(6) 利用者の満足度	×1	○	
(7) 苦情等への対応	×1	○	
(8) 利用促進への取組	×1	○	
(9) その他	×1	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
35点	A

標準点※1	評価基準※2	得点
30点		S
	A+	38点・39点
	A	27点～37点
	B	26点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。
 ※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
 「A+」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
 「A」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
 「B」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

特命要件の継続状況
団体のノウハウを活用して、個々の利用者ニーズに的確に応え、きめ細かいサービスを提供している。また、都の障害者スポーツ施策に対して適切な助言を行うとともに、大規模改修工事に的確に対応している。

9. 東京都多摩障害者スポーツセンター

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の保守点検	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> きめ細かく点検・保守を行っており、事故等があれば迅速に対応している。 建物及び敷地ともに小まめな清掃を励行している。汚水等が詰まった時など問題が発生した場合、他の利用者に迷惑にならないよう迅速に対応。 館内は1日3回以上の巡回を実施している。
(2) プール施設の管理	×1	○	
(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(4) 施設の警備	×1	○	
(5) 人員配置	×1	○	
(6) 人材育成の取組	×1	◎	
(7) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守			
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護の取組	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護に関する規程・施行要綱及び受付マニュアルを策定し、受付業務システムにより個人情報を適正に管理。 個人情報保護に関する規程及び情報セキュリティ実施基準を策定している。 可燃・不燃・資源ごみ等に分別して回収している。産業廃棄物、医療廃棄物は通常のごみ処理とは区別して契約し、処分している。 個人情報漏えい及び個人データ紛失事故等の発生無し。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○	
(6) 都への報告・連絡	×1	○	
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○	
安全性の確保			
施設の安全性は確保されているか			
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> 東京都心身障害者福祉センター多摩支所と防火管理等の協定を結び、合同の総合防災訓練（館内放送、119番通報、避難放送、初期消火、避難誘導、救護、消火器による消火訓練等）を実施している。 「危機管理事故対応マニュアル」「応急手手順書」「応急処理マニュアル」「地震発生時における対応行動指針」を策定している。
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○	
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(4) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理			
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> 法令・協定書等を遵守し、適切に処理されている。 「物品取扱要領」に基づき物品取扱責任者を設置し、保全物品・購入物品・取得物品に区分した物品一覧表を備え、毎年3月末に棚卸を実施。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×1	○	<ul style="list-style-type: none"> 29年度、屋内体育施設の利用率はプールが29.7%ともっとも高く、48,156人の利用があった。次に利用率が高いのがトレーニング室、体育館の順になっており、全体の合計利用者は162,396人で、28年度より7,253人減となっている。
事業の取組			
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業の実施状況	×2	○	<ul style="list-style-type: none"> お客様の声等による利用者の意見については、四半期ごとに集約した内容を苦情調整委員会にて、有識者（SW、弁護士等に苦情調整委員を委嘱）の助言を求め、サービス向上に努めている。 アンケート調査の結果については分析のうえ、次年度の事業計画や修繕内容に反映している。 ホームページをリニューアルし、見やすくなっている。また、スマホ対応に改修している。Twitterを活用し、教室事業の告知や当日状況などを写真付きで紹介することにより、参加を案内するとともに、施設の事業についてICTを積極的に活用して情報発信している。 移転先への送迎バスの運行や、プール等代替施設の調整について、利用者の要望を踏まえて検討したうえで、調整を進めているところを評価。
(2) 自主事業の実施状況			
(3) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況			
(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
(6) 利用者の満足度	×1	○	
(7) 苦情等への対応	×1	○	
(8) 利用促進への取組	×1	◎	
(9) その他	×1	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
35点	A

標準点※1	評価基準※2	評価結果	
32点		S	43点以上
	A+	40点～42点	
	A	29点～39点	
	B	28点以下	

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。
 ※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
 「A+」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
 「A」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
 「B」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

特命要件の継続状況
団体のノウハウを活用して、個々の利用者ニーズに的確に応え、きめ細かいサービスを提供している。また、都の障害者スポーツ施策に対して適切な助言を行うとともに、大規模改修工事に的確に対応している。